

【お知らせ】夏休みこども家庭庁による啓発動画の紹介について

標記の件につきまして、金沢市教育委員会を通じて、周知依頼がありましたのでお知らせします。

こども家庭庁では、8月20日から9月9日までを「こども・若者の自殺対策集中取組期間」としており、対象となるこども・若者に向けて「一人でつらいことは、一緒に話してみませんか。」というメッセージを届けるとともに、今回は、話すことへのハードルを下げることや相談窓口の周知を目的とした動画を新たに作成したとのことです。

＜こども家庭庁「夏休みが終わってほしくないときに見る動画」＞

<https://www.gov-online.go.jp/media/commercials/202607/video-313038.html>

つきましては、お子さまが所属しているClassroomには、学校から上記URLを転記することで周知をいたしますが、保護者の皆さまにおかれましても、ぜひ事前にご視聴をいただくとともに、お子さまとの日々の対話の中でのひとつの話題としてご活用いただけたら幸いです。

加えて、中学校の3年間は自分の気持ちに戸惑い、保護者や教員に素直な思いを表出することが難しくなる時期です。こうした時期だからこそ、深い傾聴と温かい見守りのバランスを意識し、周囲の大人が連携して子どもたちを支えていくことが重要です。

我々教職員や保護者、そして森本地区の地域住民の皆さまは、地域の子どもたちの小さな変化に気づき、自然に声をかけられる大切な「ゲートキーパー」です。

同じく、こども家庭庁が制作した、このゲートキーパーの役割を伝えるアニメーション動画(約5分)をご案内いたします。よろしければぜひ一度ご視聴ください。

＜こども家庭庁「私にも、できることがある。こどもの小さな変化に気付くために。～ゲートキーパーとは～」＞

<https://youtu.be/519rOb6HzmY>

以上となります。

お子さまの健全な成長を支えるための様々な取組に、引き続きのご理解とご協力をお願いいたします。

教頭